



学校だより

令和8年 5月 28日
No.3 6月号
横浜市立瀬谷第二小学校
校長 小池 靖彦

学校教育目標

友情わく かわく 希望わく 毎日わくわくする学校

集まれ!保護者ボランティア

副校長 水沢 文芳子

校庭や北門そばのあじさいの花のつぼみが日に日に大きくなって色づき、梅雨が近いことを感じるこの時季です。正門そばのアマリリスも大輪の花を咲かせ、見ごろを迎えています。5月中旬の朝には、プールサイドでカルガモが一羽、気持ちよさそうにひなたぼっこをしながら羽を休ませている光景を見かけました。プールサイドにカルガモがなぜ…、どこから…、どうやって…、とたくさんの疑問がわきましたが、昼頃にはカルガモの姿は消え、いったいどこへ…、と新たな疑問が増えました。カルガモの登場にはびっくりでしたが、また瀬谷第二小にきてほしいなと思い、プールを見つめている毎日です。



プールサイドで発見!

さて、今年度から本校のPTA組織がなくなりましたことを受け、昨年度までPTA本部運営とともに担っていました「保護者ボランティア」の案内や募集を4月から学校が中心となって行っています。4月下旬の「交通安全教室」には、30名ほどの保護者の方にご協力いただき、児童の活動を見守っていただいたり、グループに入って誘導してくださったりして、安全に学習を進めることができました。また、1、2年生の生活科や3年の社会科の学習で学校外に出るときにも、保護者ボランティアの方々に付き添っていただきました。家庭科の学習でも、調理や裁縫の実習で、児童が安心して学習できるように支えていただきました。どの学習でも、保護者ボランティアの方々の存在は大きく、児童が安心して集中して学習を進めることができ、児童の力をのばすことにもつながっています。地域の方に「ボランティア」をお願いしている活動や支援もありますので、保護者の方のお力をさらにお借りし、学校を支えていただければ、これほど心強いことはありません。また、「友情わく かわく 希望わく 毎日わくわくする学校」の実現に向けて、教職員が保護者、地域とともに取組や活動を続けていくその姿を児童が間近で見ること大きな価値があることだと考えます。今後も学校から保護者ボランティアへのご協力を「すぐーる」等で発信していきますので、お子さんの学年に限らず、「できるときに」「できる範囲」でかまいませんので、ぜひご協力ください。

最後になりましたが、4月下旬に地域の方から、本校宛にはがきが届きました。「放課後、本校の児童数名が公園付近でごみ拾いをしている姿を見かけて嬉しくなり、児童の名前はわからないが、機会があれば感謝を伝えてほしい」との内容でした。5月19日の全校朝会で校長よりはがきの内容を紹介し、「地域のために自主的に行動していたことはとてもすごい。みんなががんばっている姿を見ている人がいるね」と伝えました。はがきで本校児童の姿をお知らせくださいましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。今後とも、ご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。